

2024年度研究奨励賞のお知らせ

日本宗教研究諸学会連合研究奨励賞 第5回 申請募集

多様な宗教研究の振興、若手研究者支援のために発足した「日本宗教研究諸学会連合研究奨励賞」制度は、本年度（第5回）も7月1日～8月14日に募集を行います。本連合参加学会の会員であればどなたでも応募可能です。どうぞ貴学会の会員の皆様に広くお知らせくださいますようお願いいたします。

募集要項と申請フォームを[本連合HP](#)からダウンロードし、メールにて申請する方式です。

これまでの受賞者についてもHPをご覧ください。



1000 Women in Religion Project
Wikipediaに掲載される女性宗教者の記事を
1000人に増やすプロジェクトのバナー

昨年度の活動報告



毎年恒例の日本学術会議哲学委員会主催・日本宗教研究諸学会連合／日本哲学系諸学会連合共催 公開シンポジウムを、昨年度もオンラインにて11月25日に開催いたしました。テーマは「AI時代における哲学・美学・倫理学・宗教学」。本連合からは吉水千鶴子副委員長が趣旨説明を、藤原聖子幹事が「AI時代の宗教と宗教学」として発題を行いました。各発題者のレジュメを含む詳細な報告は[本連合HP](#)にてご覧いただけます。

発行

日本宗教研究諸学会連合事務局

office.jfssr2008@gmail.com

このNLは本連合のHPにも掲載しています

学術会議第26期（2023年10月～）

日本学術会議哲学委員会の新役員が選出されました。

委員長:河野哲也 副委員長:吉水千鶴子

幹事:中村征樹、奥田太郎

学術会議の在り方をめぐる[政府（内閣府）と学術会議側の意見](#)は平行線状態ですが（2024年5月現在）、学術会議側は第26期の[アクションプラン](#)として、社会のニーズにより迅速に応え、かつそれをYouTubeやSNSを通して可視化することを謳っています。

お知らせ

- 本年度の公開シンポジウムは、「脳オルガノイド」をテーマに、サイエンスアゴラの企画として、10月16日または17日にお台場テレコムセンター・ビルにて開催する予定です。企画は本連合加盟学会会員の師茂樹氏が担当されます。サイエンスアゴラは、さまざまな専門の研究者や学生が集まり、科学と社会をつなぐ企画を展示する大がかりなイベントです（JST主催）。
- 貴学会が主催するシンポジウムや学会企画を、本連合から（運営委員会が審議した上で）共催／後援します。事務局にご申請ください。